

Special Interview

黒木華

Kuroki Haru

ていねいな役づくりで
現代と昭和をふんわり行き来する

カジュアルなふだん着でスタジオに現れた黒木華は、ナチュラルで控えめな佇まい。でも、カメラを向けられるや、表情がさざ波のように細やかに変化して、その一瞬一瞬のきらめきに、目が離せなくなる。この底知れない魅力が、巨匠と呼ばれる監督や演出家たちを惹き付けるのだろう。

女優デビューのきっかけは、大学生の時、「野田秀樹さんが好きだったから、ただ会いたくて」参加した演劇ワークショップ。オーディションに合格し、NODA MAPの舞台を皮切りに映画やドラマでも活躍。わずか数年後の2014年にベルリン国際映画祭の最優秀女優賞を受賞。瞬く間に世界でスポットライトを浴びる存在になった。

「昭和の香りのする女優」という声もあるが、もちろん、生まれは平成。「現代の役も演じているので、あまり昭和のイメージばかりは…」と、少々困惑気味だが、彼女が演じる昭和の女性像のリアリティは、緻密な役づくりから生まれている。「私は、その時代を生きていないので、昭和の女性を演じることは難しいと思うことも多いです。見ている人が違和感を持ってしまうと、映画にとってよくないと思うから、本を読んだり、家で自分で着物を着る練習もずいぶんしました」。次に出演する映画「母と暮せば」は、ベルリン映画祭での受賞作「小さいうち」同様、山田洋次監督の作品。時代背景はまた昭和。終戦直後の長崎だ。「原爆がどういものなのかということも含めて、知らないこと、難しいことが多い役柄です。監督から手渡された資料を手がかりに勉強しているところです。山田監督はセットの小物にも気を遣われる方で、そうしたディテールも、作品をつくってゆくだと思います」。映画やドラマの中で、役柄として生きてきた昭和は、彼女の目から見て、どんな時代だろう。

「いつも思うのは、現代は人と人との関わりが薄いことがありますけれど、昭和の文学、歌とかからは、きちんと人と人が関わっているような感じを受けます」。

ひとつひとつの質問に、澄んだ声で「寧ろ」答える姿には「懐かしい」という、古風な言葉が似合う。プライベートでは1人で映画館に行ったり、ごはんも食べる。休日は家で過ごすことが多い。自分の時間を大切にしながら、役と、人と、きちんと関わる。そんな毎日から、多くの人が共感できる役が生まれるのかもしれない。思い描く将来は、「自分自身ではなくて、その映画の中の役柄としてずっと生きてゆけるような、そんな女優さんになれたら」。



映画「母と暮せば」

作家・井上ひさしさんに捧げ、山田洋次監督が映画化。長崎の原爆で息子を亡くした伸子(吉永小百合)のもとに、死んだ息子(二宮和也)の姿が現れる。生前のように懐かしく語り合う2人の心配事は、息子の恋人だった町子(黒木華)のことだった…。●2015年12月12日全国公開
©2015「母と暮せば」製作委員会

Profile くらき-はる1990年大阪府出身。大学在学中に野田秀樹の演劇ワークショップに参加、NODA-MAPの公演に出演。2010年から映画、ドラマに出演し、2014年に山田洋次監督「小さいうち」で第64回ベルリン映画祭最優秀女優賞を受賞。舞台、映画のほか「花子とアン」「天皇の料理番」などテレビドラマでも活躍。好きなデニッシュは京都三色、祇園辻利抹茶あん。



Radio

MAKOTO×和紗 京おんなの歌づくり

週末の夜をアダルトに、はんなり彩る、α-STATIONのラジオ番組「Sweet'n marble lovers」に、京都在住のシンガーソングライター・和紗さんが仲間入り。パーソナリティー・MAKOTOさんとトークを繰り広げます。



MAKOTOさんの、はんなり大人のトークが好評で、スタートからはや7年を迎える「Sweet'n marble lovers」。毎月最終日曜日に、シンガーソングライター・和紗さんがレギュラー参加する。京女、そしてソングライターと、共通点を持つ2人のトークは、打ち合わせで早くもノリノリ…。

MAKOTO (以下:M) 和紗さんは、去年から京都で、がんばったはるんやね。

和紗 (以下:和) はい。京都に帰ってきて、自然体で曲が書けるようになったと思います。単純にリラックスしているからかな。

M 自然に触れてインスピレーションがわくことって、ありますよね。個人的には、宝ヶ池とか岩倉とかの広々した場所が好き。それと、新幹線から見る緑の風景。

和 ある！乗り物って、インスピレーションわきます。

M 私、新幹線でレコーディングで東京に行く間に、一曲歌詞を書いたことがあります。

和 それ、ズグくないですか…(笑)。MAKOTOさんは、最近はどうな歌詞を書くんですか？

M いま書き始めているのは、山陰線の列車から見える桜の一年をテーマにした曲で…。

和 また電車ですか？(笑)

M いちおう、京都を題材にした歌ですよ。

和 京都って、やっぱりお客さんが近い。ライブなんかで応援してくださる皆さんの存在が、今まで以上に素直に受けとめられるようになった気がします。

M 和紗さんの歌って、何時間聴いても「もっと聞いていたい」って思わせる歌、素直さが滲む曲ですよ。

和 わあ、ありがとうございます。私、MAKOTOさんには、なぜか、友達には言えないような真剣な話もしてしまえるんです。番組でも、よろしく願います。

M こちらこそ、よろしゅうに。

MAKOTO

Profile 祇園町で、舞妓、芸妓として活動する傍ら、シンガーとしてメジャーデビュー。芸妓引退後は、マルチなパーソナリティーとして活動。京都を伝える仕事にも取り組む。好きなデニッシュは、くるみキャラメル。

MAKOTO JAZZ ティナーショー

7月6日(月) 京都ブライトンホテル

「真実の部屋」ライブ

7月10日(金) 古川町商店街「古川趣蔵」(京都・東山)

http://makototoko.com

Sweet'n marble lovers

α-STATION
FM KYOTO 89.4

α-STATION FM KYOTO (89.4MHz)
●毎週日曜日 19:00~19:30 DJ: MAKOTO

Sweet'n marble lovers
レギュラーゲスト出演
京都出身のシンガーソングライター、和紗

昨年、京都に拠点を移して、新たなスタートを切った和紗さん。「歌詞の内容も、より身近なことをとりあげるようになった。リアルになったというか」。身の回りのことや人に心を寄せて、そして自分にも向き合えるようになった、と語る。ライブも自分で構成する。「デビュー前につくった歌を、改めてライブで歌ったりもしています」。路上や野外、オープンなスペースでのライブで、お客さんからももらえる反応が次のパワーにつながる。「京都の観客は、厳しい反面、いちど好きになってもらえると、細く、長く応援してくださる気がします。番組では、リスナーからのメッセージを話題に、和紗さんの日々の創作や気づきもお伝えする。グランマーブルプレスにも登場する予定だ。

**和紗**

Profile 2009年にメジャーデビュー後、2014年夏からは京都を中心としたライブ活動、楽曲づくりを開始。好きなデニッシュは、京都三色。

和紗 6th Anniversary Live ~free your spirit~
7月26日(日) SILVER WINGS (京都・祇園) 19:00~
http://www.limekoubou.com

新風館×和紗Special monthly event
~heal place*heal time*&heal voice~
毎月開催(7月は休み) http://shinpuhan.jp/

**「Piano voice」**

1200円(税込) GKA-00001
和紗のラブソングを、ピアノとヴァイオリンでしっとり聴かせる。「それでいいよ」「紙ヒコキ」「覚えてますか」の3曲入り

FM COCOLO のAFTERNOON DELIGHT
DJ MEMEさんとスイーツの、甘い午後

FM COCOLOで月曜から木曜までの午後2時からお届けしている番組「AFTERNOON DELIGHT」。パーソナリティーのMEMEさんのシルキーでやさしい声は、午後のひと時を、一口のスイーツのようにホッと癒してくれる。「ランチが終って一息ついた時間ですから、リスナーから『いま、番組を聞きながらケーキを焼いています』というメッセージが届いて、まるでスタジオの中までいい香りがしてきそう…なんていうこともありますよ」。MEMEさんご自身もホームメイドのケーキづくりを楽しむことが多いとか。「ラジオだと、おいしさや甘さをお伝えすることが難しいんですけど、たとえば、マーブルデニッシュのおいしさをお伝えする時には、『トーストしてみたら、よりおいしかった』とか、自分流の食べ方を紹介したり、その日の

季節感にフィットするフレーバーのお話をしたりしています。番組でスイートな時間を過ごしていただくためには、選曲も大切に。クリスマスなどは、うんと甘いメロディで盛り上げます」。

AFTERNOON DELIGHT

●毎週月曜日~木曜日 14:00~17:00

Blooming heart (15:00~15:10)



曜日ごとにバラエティにとんだ話題を“真心をかたちに”をテーマにお送りしています。木曜日はリスナーからのメッセージをご紹介します。

MEME

Profile 神戸出身の国際派パーソナリティー。オーガニックな食にこだわる自然派でもある。好きなデニッシュは苺フロマージュ、チーズ&ベーコン。



「実は、スイーツは甘さよりも、風味と内容重視なんです…」と言うMEMEさん。ハニーフロマージュを試食して「これ、好き系です!」。